

## 第四章 管理項目

※色の塗りつぶし範囲  は、元請けの管理範囲です。

フローチャート	管理事項	管理基準
① 工事打合せ	①ハイベース設置図のチェック	
② アンカーボルト搬入	②納入場所の確保 元請けで納入受取をお願いします	
③ 捨てコンクリート打設	③ハイベース据付部は、捨てコンを100mm以上確保する	100mm
④ 柱芯墨出し	④施工前日までに柱芯(鉄骨芯)の墨出しをする	
⑤ アンカーボルト据付	⑤据付前の柱芯の墨とレベルの再確認	
⑥ アンカーボルト据付完了後の検査	⑥検査基準はチェックシートによって行う ・柱芯間の寸法確認、 ・アンカーボルト天端のレベルの確認	$\leq \pm 3\text{mm}$ $-3\text{mm} \leq \pm 10\text{mm}$
⑦ 鉄筋配筋・型枠の立込み	⑦アンカーボルトと鉄筋との緩衝させない ・形板は、取り外さない ・形板の上に乗らない ・アンカーボルト、アンカーフレーム、形板に鉄筋・スペーサー等を結束させない	
⑧ 基礎コンクリート打設前のアンカーボルトの修正	⑧修正検査基準 ・アンカーボルト形板中心位置 $\leq \pm 3\text{mm}$ で修正 ・アンカーボルト天端レベル $-3\text{mm} \leq \pm 10\text{mm}$ で修正	$\leq \pm 3\text{mm}$ $-3\text{mm} \leq \pm 10\text{mm}$
⑨ 鉄骨建方後の後詰めモルタル注入	⑨後詰めモルタル材はNX2000を使用する 圧縮強度 材令3日 25N/mm <sup>2</sup> 以上 ・モルタル注入レベルの確認( $\geq$ 底面+10mm) ・中心塗り部分モルタル ハイベースGX700以下の型式 ▽ 大きさ …150以上300mmかつ柱寸法以下 ハイベースGX800の型式 ▽ 大きさ …300以上500mmかつ柱寸法以下 ▽ 厚さ … 50mm	10mm以上 $150 \leq a \leq 300$ $300 \leq a \leq 500$ $30\text{mm} \leq 50\text{mm}$
⑩ アンカーボルトの締付	⑩アンカーボルト本締めまでの経過日数の確認 ・アンカーボルト予備締めの締付トルクは、以下の数値を目安とする M24 :20~30cmのレンチで400N程度の方で 締め付ける(100N・m) M30~42 :40~50cmのレンチで400N程度の方で 締め付ける(200N・m) M48~64 :70~80cmのレンチで400N程度の方で 締め付ける(200N・m) ・アンカーボルト本締めは予備締+30° から40° を目安とする	$30^\circ$ から $40^\circ$
⑪ モルタル注入後、24時間以上経過してから取り外す	⑪モルタル注入後、24時間以上経過してから取り外す	1日